

令和元年11月県議会定例会の結果について

教育政策課

1 会 期

11月28日（木）～12月13日（金） 16日間

一般質問 12月3日（火）～6日（金） 4日間

委員会 12月9日（月）、10日（火） 2日間

2 教育委員会関係の議案等

補正予算案1件、条例案1件、事件案3件が原案どおり可決された。

(1) 補正予算案

第1号 令和元年度長野県一般会計補正予算（第9号）案中

第1条 「第1表 歳入歳出予算補正」中

歳出 第11款 教育費

第3条 「第3表 債務負担行為補正」中の一部

(2) 条例案

第14号 長野県学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について

(2) 事件案

第27号 指定管理者の指定について

第28号 県立武道館建築工事変更請負契約の締結について

第29号 県立武道館空調設備工事変更請負契約の締結について

3 一般質問の概要

30人の議員のうち6人の議員から教育委員会関係について質問があった。

主な質問項目

- ・台風第19号災害への対応について
- ・高等学校入学者選抜制度の改正について
- ・地方創生と高校改革について
- ・教員の働き方改革について

4 文教委員会における主な質疑及び請願・陳情の審査について

(1) 主な質疑項目

- ・台風第19号災害への対応について
- ・高等学校入学者選抜制度の改正について
- ・平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果について
- ・2027年長野国体に向けた競技力向上対策について
- ・白馬ジャンプ競技場の指定管理について
- ・高校の募集定員について

(2) 請願・陳情の審査

請願 2件（うち新規1件） 採択0件

陳情 22件（うち9月定例会受付締切後提出13件、新規4件） 採択10件

採択された請願・陳情

陳第69号 児童生徒の安全確保について

陳第71号 特別支援教育の充実について

陳第72号 不応・不登校児童生徒の支援充実について

陳第73号 定数内臨時的任用職員の解消・教職員の増員について

陳第74号 学校における働き方改革について

陳第75号 義務教育費国庫負担制度について

陳第76号 30人規模学級の継続について

陳第77号 LD等通級指導教室の設置・巡回について

陳第78号 日本語指導・外国籍等児童生徒支援指導の充実について

陳第80号 教育予算の確保について

令和元年台風第19号災害による教育委員会関係の被害状況について

令和元年11月26日現在
教育政策課

1 小中学校被害と対応の状況

(1) 全体概要

学校数	被害の状況	対応状況
長沼小学校など 127校	・床上床下浸水 ・電気設備の故障 ・雨漏り、倒木 等	・長沼小学校など 19校が休校 (11月6日までに全校で授業再開)

(2) 主な被害の状況

学校名	被害の状況	対応状況
長沼小学校 (長野市)	・床上浸水 ・1階部分1.7m浸水 ・電気、上下水道等使用不可(一部復旧)	・11月5日授業再開(柳原小学校を使用) ・仮設住宅等からスクールバス等による送迎を実施 ・電気設備等の復旧 ・仮設校舎の建設(年内に完成予定)
豊野中学校 (長野市)	・床上浸水 ・1階部分1.5m浸水 ・電気、上下水道等使用不可(復旧済)	・11月6日授業再開 ・仮設校舎の建設(年内に完成予定)
東北中学校 (長野市)	・床上浸水 ・1階部分20cm浸水 ・1階電気等使用不可(復旧済)	・10月31日授業再開 ・仮設住宅等からスクールバス等による送迎を実施

2 県立高校の被害と対応の状況

(1) 休校の状況

学校数	理由	対応状況
飯山高校 など 24校	公共交通機関の運休	・10月22日までに全校で授業再開 (上田電鉄の運休区間は、バスによる代替輸送あり)

(2) 施設設備

学校数	被害の状況	対応状況
飯山高校 など 28校	・屋根の破損 ・グラウンド浸水 等	・11月補正予算等により被災箇所の修繕等を実施予定

※被災箇所の修繕のため補正予算を計上【98,350千円】

3 特別支援学校の被害状況

学校数	被害の状況	対応状況
伊那養護学校など 4校	・倒木 ・雨漏り 等	・被災箇所の修繕等を実施済

4 社会教育施設の被害と対応の状況

施設数	被害の状況	対応状況
更埴図書館など 52施設	・床上床下浸水 ・土砂堆積 等	・復旧工事を行う市町村と国との連絡調整などを支援

5 文化財の被害と対応状況

件数	被害の状況	今後の対応
旧開智学校校舎など 30件	・床上床下浸水 ・壁の崩落 等	・修理方法等の助言や修理費用の一部を補助

6 児童生徒の心のケアの状況

被災直後から、被災した小中学校などにスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒のカウンセリングや声掛け等を実施

派遣人数（延べ）	支援した児童生徒数
95人	約1,651人

※スクールカウンセラー派遣のため補正予算を計上【6,205千円】

7 学用品の無償支給

被災により学用品を失った児童・生徒に対し教科書等を支給

支給した教科書	教科書以外の学用品
4,157冊	ジャージや運動靴等を支給

※学用品支給のための予算を10月31日専決処分【18,086千円】

長野県公立高等学校入学者選抜制度（第二次案）に係る 11月県議会の質疑内容について（概要）

高 校 教 育 課

- 選抜制度検討委員会、1次案、2次案の公表等、段階を踏んで検討してきていることは認めるが、ある程度の具体的な制度の内容が、該当学年の中学校入学段階までに提示され、それを周知しておく時間が必要である。
- 制度の説明に関しては、小中学校を通じた説明、地区別説明会等で一定程度行われてきたが、今後も公表に向けた説明が大切である。現行制度についても理解するのが大変であるため、新たな制度については更なる丁寧な説明が必要である。
- 学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）を適切に評価するための新たな選抜制度の導入の意義は理解できるが、その丁寧な説明が必要である。
- 「その他の検査」を導入し、「主体的に学習に取り組む態度」を評価することだが、どの学校にどのような「その他の検査」が導入され、あるいはどのように調査書の特定項目を利用するかを明確にする必要がある。
- 新しい学習指導要領が導入され、それに伴い新指導要領に基づいた評価方法が必要とのことだが、制度を公表する段階で、中学校における評価方法、調査書記載内容、及び選抜における評価方法等を明確にする必要がある。
- 2022年度から高等学校の新学習指導要領が年次進行で実施されることから、この時に新たな選抜が導入され、中学校で伸ばした資質・能力を高校においても連続的に身に付けるための導入時期だと言うが、中学校の学びの状況に合わせて、中学校3年間を新しい教育課程で学んだ学年からの導入が適切である。